

【助産診断・技術学】

科目名	健康教育技法	講師名	① 教育主事 (4) ② 専任教員 (26)	学 年	1	履 修 期	第1学期					
単 位	1単位											
時間数	30時間											
講師実務経験	助産師としての実務経験あり											
授業概要	健康教育の原理と技法を理解し、リプロダクティブヘルスに関する相談・教育・援助技術の基本技術を習得する。											
授業科目目標	1. 健康教育の理論が理解できる。 2. 健康教育に活用できる基本的な技法が理解できる。 3. 集団指導の企画・運営・評価のための基礎的能力を習得できる。											
授業内容	講師① 4時間 第1～2回 1. 健康教育の理論、教育技法 講師② 26時間 (試験1H含む) 第3回 2. 健康教育の実際 1) カウンセリング技法 第4回 2) 訪問指導技術 産後訪問指導 第5回 3) 個別指導 産後健診/乳児一ヵ月健診 第6回 受胎調節指導 第7回 4) 集団指導 集団指導による健康教育の基本技術 第8～13回 3. 健康教育技法 (演習) 1) 学級活動の企画・運営・評価 第14回 2) 健康教育の評価 3H 終了試験 1H					講義	講義	演習	演習	演習	講義	演習
評価方法	筆記試験											
テキスト	助産学講座5 基礎助産学 助産診断・技術学I 医学書院 助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健 医学書院											
参考書	講義中に掲示する											
学生へのメッセージ	助産師には対象にあった相談や教育の実施が求められます。そのための概念や理論を学び、相談・教育に用いることができるように学習を深めてください。											